

JICA関係者限定資料

# モーリシャス

任国情報

1999年

JICA LIBRARY



J-1157514 [9]

国際協力事業団

国際協力総合研修所





## は し が き

この任国情報は国際協力のために赴任される専門家などのJICA関係者に、赴任国での生活上必要な情報を提供するものです。

本書の刊行にあたっては、当該国に派遣中の専門家などJICA関係者の皆様から多大なご協力を得ました。また、外務省、在外公館、その他関係機関のご好意により、貴重な資料の一部を利用させていただきました。

今後も本書の内容を一層充実させ、常に新しい情報の提供に努めたいと考えております。

本書が国際協力の分野で活躍される方々の参考となれば幸いです。

なお、本書に記載された内容は、当該国に派遣中の専門家などJICA関係者の皆様の執筆を中心にまとめたものであり、国際協力事業団の公式見解ではないことを付記いたします。

平成12年 3 月

国際協力事業団  
国際協力総合研修所長



1157514 {9}

## 目 次

I 概 況 .....	i
II 生活事情 .....	1
1. 食 生 活 .....	1
2. 衣 料 .....	5
3. 住 宅 .....	6
4. 医 療 .....	8
5. 教 育 .....	11
6. 家庭の使用人 .....	14
7. 交通事情 .....	15
8. 通 信 .....	17
9. マスコミ .....	19
10. 教養、娯楽、趣味、スポーツ .....	20
11. その他のサービス .....	23
12. 観 光 .....	24
13. 治安、緊急時の心得 .....	25
14. 出入国手続きおよび帰国手続き .....	27
15. 私財の輸送、引き取り、購入 .....	29
16. 社 交 .....	31
17. 任国官公庁 .....	32
18. 在外日本関係機関など .....	33
19. 地方都市 .....	33



# I 概 況

表－1：モーリシャス概況

正式国名	(和文) モーリシャス共和国 (英文) Mauritius (Maurice) *注1
独立年月日 旧宗主国名	1968年3月12日 *注2 イギリス
政 体	共和制 *注3
元 首	カサム・ウテム (Cassam Uteem) 大統領 97年7月再選 *注4
面 積	2040km <sup>2</sup> (ほぼ大阪府大) *注5
首 都	ポートルイス (Port Louis) *注5
総人口	116万人 *注6
民 族	インド系68.3%、クレオール28.5%、中国系3.2% *注9
公用語	英語、仏語、クレオール語 (仏語の変形したもの) *注4
宗 教	ヒンズー教50%、キリスト教31%、イスラム教16%、 仏教3% *注4
通貨単位	モーリシャス・ルピー
暦	<p>&lt;日本との時差&gt; -5時間 *注8</p> <p>1月1、2日 新年</p> <p>1月19日 * ラマダン明け</p> <p>2月16日 中華新年</p> <p>3月12日 National Day</p> <p>4月2日 聖金曜日</p> <p>5月1日 メーデー</p> <p>11月1日 All Saints'day</p> <p>12月25日 クリスマス</p> <p>(*イスラム暦によるため、1～2日のずれがあり得る。)</p>

出所 注1：「国際協力事業団法令・規定集」

注2：「世界各国要覧 9訂版」1998 東京書籍

注3：「国概況」1998年11月 外務省

注4：「世界年鑑」1999 共同通信社

注5：World Development Indicators(WDI)-1998/出典年:1998

注6：International Financial Statistics August 1999 IMF

注7：国際航空運送協会 (IATA) 調べ

注8：「アフリカ便覧 1998年度版」 アフリカ協会

## 1. 国土の概要

マダガスカル島の東方、約800kmに位置するインド洋上の島国である。モーリシャス本島のほか、ロドリゲス島、アガレガ諸島などから成り、西方にフランス領レユニオン島、東北方に英領ディエゴガルシアがある。面積は2040km<sup>2</sup>で、大阪府とほぼ同じくらいである。

(参考文献)

『世界年鑑』1999 共同通信社

『世界各国要覧』9訂版 1998 東京書籍

## 2. 気候

海洋性気候で多湿である。12～4月までが熱帯性、5～11月までが亜熱帯性気候であり、首都ポートルイスの平均気温は約26度である。概して内陸部の方が気温が低く、湿度が高い傾向にある。

表－2：平均気温／降水量（ポートルイス）

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間平均
気温(℃)	27.2	27.3	27.6	27.6	26.9	25.7	25.0	24.8	25.3	25.9	26.6	27.2	26.4
降水量(mm)	272.4	198.4	195.5	167.7	174.9	83.3	89.6	87.1	91.3	142.5	113.0	224.8	153.4

(参考文献)

『世界各国要覧』9訂版 1998 東京書籍

The Europa World Yearbook 1999 1999 Europa Publications

## 3. 人口

1998年の総人口は116万人である。

主要都市の人口（1997年）は、ポートルイス14万6499人、ポー・バッサン／ローズヒル9万9562人、ヴァコア／フェニックス9万7417人、キュールピップ7万8892人、キャトルボルヌ7万5967人である。

(参考文献)

The Europa World Yearbook 1999 1999 Europa Publications

International Financial Statistics August 1999 IMF



#### 4. 略史

表-3：モーリシャス略年表

1595年	オランダ領
1716年	フランス領
1814年	イギリス領
1968年 3 月	独立、ラングーラム首相に就任、新内閣成立
1976年12月	総選挙、左翼の野党MMM進出（70議席中34議席を獲得）
1982年 6 月	総選挙でMMMを中心とする三翼連合圧勝
1983年 8 月	総選挙でMMM大敗、MSM、PMSD、労働党、OPRの連合政権成立
1985年12月	国会議員の麻薬所持事件。麻薬所持の容疑により与党議員 4 名がアムステルダム空港で逮捕される
1986年	労働党党首の入閣。相次ぐ官僚の辞任や議員の麻薬所持事件の処理をめぐり、与党内部の対立が深刻化。内閣改造。
1987年 8 月	総選挙で保守派連合が大勝
1988年 8 月	内閣改造。PMSDのデュバル副首相下野
1991年12月	憲法改正
1992年 3 月	立憲君主制から共和制へ移行
1995年12月	総選挙（野党連合の圧勝）、ラングーラム首相就任
1997年 6 月	ラングーラム首相、ベランジェ外相を罷免。連立政権に終止符
1997年 7 月	内閣改造

（参考文献）

【アフリカ便覧 1998年度版】 アフリカ協会

#### 5. 民族

インド系68.3%、クレオール（黒人と白人の混血）28.5%、中国系3.2%である。

（参考文献）

【アフリカ便覧 1998年度版】 アフリカ協会

## 6. 言語

公用語である英語のほか、仏語、クレオール語（仏語の変形したもの）、ヒンディー語、中国語などが使用されている。

（参考文献）

『世界年鑑』1999 共同通信社

## 7. 宗教

ヒンズー教（50%）、キリスト教（31%）、イスラム教（16%）、仏教（3%）など様々である。

（参考文献）

『世界年鑑』1999 共同通信社

## 8. 文化

古くから各方面の種族がたどり着き、国民構成は雑多であるが、それぞれの伝統、文化、宗教を守りながら、互いを尊重しつつ共存している。そのため、国民は異なった人種、文化に対して寛容である。南国の風土を反映してか、性格は温和で、陽気で親しみやすい。

（参考文献）

『世界各国要覧』9訂版 1998 東京書籍

『モーリシャス共和国概要』1995 外務省

## 9. マス・メディア

### (1) 新聞

主要日刊紙として、『L' Express』（英／仏語、4万2000部）、『Le Mauricien』（英／仏語、3万部）、『Le Quotidien』（英／仏語、3万部）、『The Sun』（英／仏語、2万2000部）がある。

（参考文献）

The Europa World Yearbook 1999 1999 Europa Publications

## (2) 放送

MBC (Mauritius Broadcasting Corporation) がテレビ 3 系統、ラジオ 5 系統の放送を行っている。

1995年時点でのラジオ受信者は41万人、テレビ受信者は24万8千人である。

## (参考文献)

The Europa World Yearbook 1998 1998 Europa Publications

【データブック世界の放送1999】 1999 NHK出版

## 10. わが国との関係

### (1) 日本との外交関係概要

1968年3月の承認より良好な関係を続けている。わが方は在マダガスカル大使館が兼轄している。在日モーリシャス大使館はなく、本国常駐モーリシャス大使が設置されている。観光促進の観点より、モーリシャス政府観光局が東京に置かれている。1980年6月に日・モ査証免除取り決めが締結されている。在留邦人数は31人（1998年10月1日現在）、在日当該国人数は70人（1997年12月末現在）である。

(参考) 外務省ホームページ

### (2) 要人往訪

1994年1月	東外務省政務次官
1996年3月	衛藤W杯招致議連事務局長
1996年9月	西村総理特使

(参考) 外務省ホームページ

### (3) 要人来訪

1972年4月	ラングーラム首相（非公式）
1973年9月	ラングーラム首相（非公式）
1987年1月	ジャグノート首相（非公式）
1988年1月	ダルー農業・漁業・天然資源相
1988年4月	ルチミライドゥ蔵相、ウチャナン・エネルギー・国内通信相
1989年2月	ダルー農業・漁業・天然資源相（大喪の礼）

1989年 7 月	ウチャナン・エネルギー・水資源・郵便相
1990年 1 月	グールブルーン副首相・経済計画開発相
1990年 2 月	ルチミナライドゥ副首相・蔵相
1990年 3 月	ダルー農業・漁業・天然資源相（花博）
1990年11月	ダルー農業・漁業・天然資源相（即位の礼）
1991年 3 月	ジャグノート首相
1993年10月	ナハブシング副首相兼計画開発相（アフリカ開発会議）
1993年12月	リー観光相（高級実務）
1994年11月	リー観光相（世界観光大臣会議）
1995年 7 月	サンスパー・フリーポート総局長
1997年 3 月	トクルーダス・対外通信省官房長
1997年12月	ジェームス・パーティ・デヴィッド地域行政・環境相（気候変動枠組条約京都会議）
1998年 9 月	ブンワレ蔵相
1998年10月	ビーニック経済開発・地域協力相（アフリカ開発会議）

（参考）外務省ホームページ

表－４：経済指標〔モーリシャス〕 統計年：1997

GDP (百万USドル)	*注1	96,939
1人あたりGNP (USドル)	*注1	3,800
実質GDP成長率(%) (1990～1997年平均)	*注1	5.3
消費者物価上昇率(%) (1990～1997年平均)	*注1	6.8
失業率(%)	*注1	11
貿易収支 (百万USドル)	*注1	-280
輸出額(fob)		1,738.1
輸入額(fob) (1998年)	*注2	2,018.1
主要輸出入相手国 (1998年)	*注3	輸出：英国 (32.1%) 輸入：仏国 (18.6%)
経常収支 (百万USドル) (1998年)	*注2	35.4
対外債務残高 (百万USドル)	*注4	2472
対外債務返済比率(%)	*注4	10.9
外貨準備高 (百万USドル)	*注1	721
為替レート (1998年末)	*注2	1USドル＝22,803 MRs (モーリシャス・ルピー)
会計年度		1月1日～12月31日

出所 注1：World Development Report 1998/99 World Bank

注2：International Financial Statistics August 1999 IMF

注3：Country Report Mauritius Madagascar Seyshelles 2nd quarter 1999 EIU

注4：Global Development Finance 1999 World Bank



## Ⅱ 生活事情

### 1. 食生活

#### 1-1 食生活

##### (1) 一般事情

西洋料理、中華料理、インド料理の材料は豊富に出回っている。輸入物は割高であるが、当地産の野菜や果物は日本と比べてかなり安く入手できる。しょうゆ（中国産）、練りわさび、日本酒なども中華食品店で入手可能である。

鮮魚、生肉は、スーパーマーケットで日本と同様に切り身をパックにして販売しており、衛生的である。市場で売られている場合は鮮度をよく確かめること。

##### (2) 主な食料の出回り状況

###### <米・パン>

米は国内では生産していないので、すべて輸入に頼っている。オーストラリア米は日本の米とよく似ており臭みもない。中国米、インド米、パキスタン米なども豊富に安く出回っている。パンも主食であるため、種類は豊富である。

###### <肉>

鶏肉をはじめ、鹿肉、牛肉、豚肉も出回っている。

###### <乳製品>

大半はフランスや南アフリカなどからの輸入品であるが、日本より安く豊富である。

###### <野菜>

当地産の新鮮なものが青空マーケットで入手できるが、季節により値の変動が激しい。長雨やサイクロンのあとは新鮮なものがなく、価格も2～3倍になる。中国系の人々がいるので、もやし、ニラ、白菜なども販売されている。また、中国系の食料品店では、しいたけ、タケノコ、きくらげ、レンコンも手に入る。

###### <果物>

季節によりバナナ、パイナップル、マンゴー、ライチなどが豊富であり、安価で美味である。一方、オレンジ、りんご、ぶどう、モモなどはすべて南アフリカ、オーストラリアなどからの輸入品であるため、値段は日本と同様である。

###### <魚介類>

島国であるにもかかわらず漁場が少ないため、魚介類は肉より高価であり、その多くをマダガスカルやセيشェルなどから輸入している。当地産のエビ、カニ類やイカ

などは輸入ものより高価で、季節により入手が困難な場合もある。

＜そのほか＞

豆腐、調味料、食用油、ビール、ワイン、ウイスキー、ミネラルウォーターなどは豊富に出回っている。ただし、ウイスキーやワインは税金が高いため、日本よりもかなり高価である。

(3) 食料の入手

野菜、果物、肉、魚の市場は、ポートルイス、ローズヒル、キューピップに常設されている。また、カトルボーン、バコアなどでは週に2回、青空マーケットが開かれており、日曜日を除いていつでも入手できる。

中国食品を扱う店は多数あり、レンコン、もち、米、あずき、大豆、干し貝柱、うどん（台湾製）、インスタントラーメン（シンガポール製）、味の素などが手に入る。

日本料理の材料として入手困難なものは、ソースやのりなどである。しょうゆやみそについては、下記の輸入業者（シンガポールから輸入）に依頼するとよい。

＜輸入業者＞

**Chan Tai Kon**

所在地：Port Louis

電 話：242-5207

＜主なスーパーマーケット＞

**Prisunic**

所在地：Curepipe Rd., Curepipe

電 話：676-2231

**Central**

所在地：St. Jean Rd., Quatre Bornes

電 話：464-4257

**SPAR**

所在地：Orchard Centre, Quatre Bornes

電 話：424-9615

**LONDON SUPERMARKET**

所在地：St. Paul Rd., Vacoas

電 話：696-0088



## Continent

所在地：Centre Commercial, Phoenix

### 1-2 食器、調理器具など

#### (1) 食器、調理器具などの入手

日本料理用などの特殊なものを除き、食器や調理器具は当地で揃う。青空マーケットや市場で売られている安価な国産品や中国製品のほか、スーパーマーケットではヨーロッパからの輸入食器、調理器具を多数揃えている。

当地で調達できるものには、冷蔵庫、冷凍庫、炊飯器、オープンレンジ、圧力釜、ミキサーなどの電化製品と、まな板、包丁（切れ味はあまり良くない）、なべ、フライパン、皿、コップ、ナイフ、フォーク、スプーン、はし、菜ばしなどがある。

#### (2) 日本から持参したほうがよい食器、調理器具など

はし、茶わん、おわん、急須、湯飲み、しゃもじ、しょうゆ差し、包丁（菜切り）など、日本独特のものは必要に応じて持参したほうがよい。

電化製品については、日本仕様のもものでは電圧およびプラグ、コンセントの形が違いため、当地で調達したほうがよい。

### 1-3 外食

#### (1) 飲食店

西洋、中華、インド料理などのレストランがある。また、アラブ風カバール、ケンタッキーフライドチキン、ステーキハウス、ピザ&スパゲティ店などがあり、ヒンズー教徒のベジタリアン専門レストランなども見られる。

中華料理はごくポピュラーな存在であり、大学の学生食堂などでも焼きそばやチャーハンが食べられる。また、北京風、上海風、広東風などの味が楽しめる。

カレーなども多くの種類があり、本格的なものが食べられる。いろいろなつけ合わせとともに楽しむのも楽しい。タコ、イカ、エビカレーなどは邦人にもなじみやすい味である。

主な飲食店は次のとおりである。

#### <日本料理>

##### Sakura

所在地：Route Rd., Grande Baie

電話：263-8072

**<クレオール料理（モーリシャス料理）>**

**La Bonne Marmite**

所在地：Rue Sir W. Newton, Port Louis

電話：212-2403

**<フランス料理>**

**La clef des champs**

所在地：Ave. Queen Mary, Floreal

電話：697-7353

**<インド料理>**

**Carri Poule**

所在地：Ave. d'Edimbourg, Port Louis

電話：212-1295

**<中華料理>**

**Happy Valley sea food restaurant**

所在地：St. Jean Rd., Quatre Bornes

電話：454-6065

**Kings Dragon**

所在地：Quatre Bornes

電話：454-4564

**<高級中華（Fu-Xiao）・インド（Indra）・クレオール（Cannelle Rouge）・イタリア料理（Dolce Vita）>**

所在地：Domaine Les Pailles, Pailles

電話：212-4225

**(2) その他の飲食店**

サモサなどの揚げ物やクレープのような薄焼きの生地にかレーを塗ったスナックを売る屋台が、街のいたるところにある。

ポートルイスやグランベイには、しゃれたカフェバーやフルーツ・シャーベット専門店もある。

## 2. 衣料

### 2-1 衣料

#### (1) 一般事情

中央高原の居住地は年間を通して快適な気候である。夏季と冬季に分けられるが、日本の6～9月までの気候が1年のサイクルにあたると思えばよい。ただし、冬季にはヤシやバナナが生えているのが不思議なほど朝晩が冷え込むため、セーターやジャケットも必要である。

衣類は豊富に出回っているが、サイズが限られており邦人に合うものは少ない。輸入品は日本での価格より高いが、国産品は安価である。

#### (2) 日本から持参した方がよい衣料

ひとつおりのものは持参したほうがよい。特に、綿製品（下着や靴下、婦人用ブラウスなど）や靴（特に乳幼児・子供用）は忘れずに用意すること。

#### (3) 任国で調達した方がよい衣料

Tシャツやポロシャツなどは国内で製造しており、ヨーロッパにも輸出している。そのため品数も多く安価である。

#### (4) その他の留意点

滞在中、ヨーロッパへの旅行を計画している場合は、そのための衣料も用意しておくといよい。

### 2-2 礼装

#### (1) パーティー

男性はスーツ、女性はドレス着用である。

#### (2) 式典

男性はスーツ、女性はドレス着用である。

#### (3) 冠婚葬祭

結婚式にはスーツやドレスを着用する。色や形に特にきまりはない。

葬儀にもスーツ、ドレス着用である。色は自由であるが、ダークで地味な色がよい。

#### (4) その他の留意点

該当情報なし。

### 2-3 洗濯、仕立て、修繕、保管

#### (1) 洗濯

クリーニング店があり、ドライクリーニングもできる。家庭用のアイロン、電気洗

濯機などは容易に購入できる。

(2) 仕立て、修繕

仕立て、修繕業者は多い。仕立て代金はワンピース 1 着で200～300ルピー程度である。

(3) 保管

中央高原の居住地は比較的湿気が少ない。保管上の注意点は日本と同じであるが、雨期（サイクロン期）にはかびが発生しやすいので気をつけること。

### 3. 住宅

#### 3-1 一般事情

外国人（特に香港、シンガポールの投資家）の急増および土地、建築資材の価格の急騰により、良好な住宅を見つけることは年々難しくなっている。

気候や買物、交通の便などを考慮して、中央高原のカトルボーン、パコア、フローリアル、キューピップなどに居住するのが一般的である。

外国人向けの一戸建て（300坪前後。庭あり、居間、食堂、台所、書斎、2 寝室、バス、トイレ、ガレージ付き）の場合、家賃は家具なしで1万～1万3000ルピー、家具付きで1万5000～2万ルピー程度である。家具、食器類は高価なので、最初から家具付きの家を探すか、そうでない場合は家主に相談・交渉するとよい。

フラットの家賃は一戸建てより2000～3000ルピー程度安い。

JICA派遣専門家には任国政府で用意してもらえる住宅があるが、入居まで長期間待たされるのが現状である。また、設備、交通の便、メンテナンスなどを考慮するとあまり勧められない。

#### 3-2 ホテル事情

中級以上のホテルはよく整備されており、安心して利用できる。

邦人がよく利用するホテルは次のとおりである。

<ビジネスホテル(朝食付き)>

**Labourdonnais**

所在地：Caudan Waterfront

電 話：202-4000

料 金：シングル 3100ルピー、ツイン4400ルピー

### **Blue Orchid**

所在地：Quatre Bornes

電 話：466-3100

料 金：シングル1190ルピー、ツイン1375ルピー

### **Gold Crest Hotel**

所在地：Quatre Bornes

電 話：454-5945～8

料 金：シングル900ルピー、ツイン1200ルピー

### **<観光ホテル（朝夕食付き）>**

#### **La Pirogue Hotel**

所在地：Flic en Flac

電 話：453-8441

料 金：シングル4400～5200ルピー、ツイン3300～3800ルピー

#### **Le Saint Geran Hotel**

所在地：Poste de Flacq

電 話：413-2825

料 金：シングル7650～1万2500ルピー、ツイン5600～1万2500ルピー

\*いずれも上記の料金に10%のサービス料および10%の税金がかかる。

### **3-3 住宅の探し方**

新聞に賃貸住宅の広告が掲載されているが、その広告の多くは斡旋業者が出しているものである。はじめから信頼できる不動産業者を訪ねて依頼したほうがよい。

知人などによる紹介は一般的ではない。

主な不動産業者は次のとおりである。

#### **Soproges Ltee**

所在地：1st Floor, George Town, Quatre Bornes

電 話：454-3046

#### **Soges**

所在地：Curepipe Road, Curepipe

電 話：676-2234

#### **Express Estate Agency**

所在地：44, St. Paue., Vacoas

電 話：696-4261

## Le Vieux Tinkler Ltd.

所在地：Royal Road, Beau Bassin

電話：454-9302

### 3-4 住宅の選定上の留意点

住宅密集地でも過疎地でもない、適度に人通りのある場所の、目立たない住宅を勧める。

屋上の貯水タンクの有無とその容量を確認すること。給水は1日2回（朝夕各2～3時間）に限られるため、貯水タンクは不可欠である。

コンロや温水の熱源が電気のところが多いが、サイクロン時の停電を考えるとプロパンガスとの併用がよい。また、電気使用量は割高である。

防犯を考慮して、出入口が2つある角地は避けること。

### 3-5 住宅の契約

通常、契約期間は1年である。支払いは1カ月ごとであり、敷金はない。斡旋業者には、家賃1カ月分の50%前後を手数料として支払うのが一般的である。

家具付き住宅でも主要な家具が足りないことがある。多少の家賃アップを示して交渉し、補充してもらうとよい。

### 3-6 電気、ガス、水道などの手続きと管理

公共料金は入居者が毎月支払う。電話代、水道代、電気代の領収書は、明け渡しの際に提示を求められるので保管しておくこと。一戸建ての場合、1カ月の電気代と水道代の合計は、およそ2000ルピー程度である。

ガスはプロパンを使用する。これはガソリンスタンドやスーパーマーケットで扱っている。

### 3-7 その他

家屋・家具類にかかる各種保険（火災、盗難、サイクロンなど）、ペンキの塗り替えなどの維持管理費、ゴミ処理費、し尿処理費などは家主が負担する。

## 4. 医療

以下の記述は、執筆者が現地滞在経験に基づきまとめた一般参考情報で、必ずしも医療専門家の校閲を受けたものではありません。したがって、詳細（特に緊急時の対応や予防薬の服用方法など）については、事前に医療関係者から専門的アドバイスを受けるようにしてください。

#### 4-1 赴任前の準備

##### (1) 予防接種

日本から入国する際に特に義務づけられた予防接種はないが、コレラ、黄熱病、破傷風、狂犬病などの予防接種を済ませておいたほうが安心である。また、日本国大使館のあるマダガスカルへ行く必要もあるので、同国入国に必要となる予防接種は済ませておくこと。

##### (2) その他の準備

歯科治療は赴任までに済ませること。眼鏡、コンタクトレンズは予備も必ず用意すること。

#### 4-2 医療事情

##### (1) 医療機関

13の公立病院がある。ホスピタルと呼ばれるこれらの病院はすべて無料である。クリニックと呼ばれるプライベート・クリニックは有料であるが、設備などはホスピタルに比べて充実している。

邦人が利用する医療機関は次のとおりである。いずれも診療科目は全科（歯科を除く）で、入院可能である。

##### **Clinique Darne (Medical Surgical Centre)**

電 話：686-1477、686-2307

所在地：Floreal

##### **Med Point**

電 話：426-7777

所在地：Phoenix

##### **Clinique Mauritienne**

電 話：454-5634

所在地：Reduit

##### (2) 緊急時の対応と措置

救急車は電話999番である。ただし、迅速で確実な対応は望めないため、自家用車などで上記のクリニックに直行するほうがよい。また、登録者のみが利用できる有料救急車のサービスがある。

#### 4-3 医薬品など

##### (1) 携行することが望ましい医薬品

着任後、持病やその他の薬品類を個人的に輸入するのは相当に困難であり、半年以

上も待たされることがある。必要な医薬品は赴任時に持参すること。

(2) 任国で調達できる医薬品

輸入医薬品は豊富であるが、漢方系の医薬品（胃薬など）の入手は困難である。

(3) 任国で調達できる衛生用品

ほとんどの衛生用品が入手可能である。

(4) 医薬品を使用する場合の留意点

該当情報なし。

4-4 妊娠、出産、育児

(1) 妊娠した場合の対応

前述の3つの総合クリニックがあるほか、開業医もいるので心配はない。双生児出産および流産の場合でも、医療設備が揃っているので心配はない。日本製機器での妊娠診断や性別判定も可能である。

(2) 出産後の対応

通常、分娩後は1週間ほどで退院する。退院後もし異常があれば、母子ともに常時診察に応じてくれる。乳児については1カ月ごとに検診があり、親切に時間をかけて相談に乗ってもらえる。

乳幼児の予防接種（BCG、ジフテリア、百日ぜき、破傷風、ポリオ、はしかなど）はプログラムに則って確実に受けることができる。

(3) 育児

育児用品の入手は容易であり、紙おむつも普及している。布おむつを使う場合は、日本製のおむつカバーを持参したほうがよい。

電気プラグ、コンセントの形状が統一されておらず、大口径かつ高電圧（230ボルト）であるため、乳幼児が指などを入れて死亡する事故がよくある。また、床がコンクリートであるため、転んだ際に頭を強打しないよう、カーペットを敷くなどの対策が必要である。

4-5 手術

(1) 任国で可能な手術

ホスピタルおよびプライベート・クリニックで各分野の手術を行っている。しかし、外国人はやむを得ない場合や虫垂炎程度の手術を除き、海外で受けることが多い。

(2) 手術設備の状況

最新とはいえないが、それなりに整備されている。



(3) その他の留意点

日本国内で入院する時の注意事項に準ずる。

4-6 任国でよくかかる傷病

(1) 一般の疾病

消化器病、風邪などである。そのほか雨期（1～3月）の下痢および肝炎に注意すればよい。

(2) 風土病・伝染病

コレラや黄熱病などの熱帯特有の悪性伝染病はなく、マラリアはすでに絶滅しているとされている。

(3) 有害動物、病害虫

毒ヘビ、サソリ、毒グモなどは存在せず、蚊、ダニ、シラミなどの吸血昆虫のみがいる。

4-7 保健衛生

(1) 飲料水

水道の水質は比較的良いが、下水が自然地下浸透式であるため、配管の老朽化によるひびなどから雑菌が混入しているおそれがある。飲用には煮沸消毒するか、市販のミネラルウォーターを用いるのが無難である。

(2) ろ過器の入手

多くの外国メーカーの商品が市販されているが、特に必要はない。

(3) 蚊帳、防虫ネットの入手

該当情報なし。

(4) その他の留意点

該当情報なし。

5. 教育

5-1 教育事情

(1) 一般事情

日本の小学校にあたるプライマリースクールが6年、中学校・高校にあたるカレッジが6年、大学が4年で6・6・4制である。義務教育はプライマリースクールのみであり、その後は商業、農業などに従事する児童が多い。中産階級および公務員の家庭はおおむね教育熱心であり、競って子弟を欧米の大学に留学させている。

(2) 日本人学校

日本人学校はない。

(3) 現地校、外国人学校

**Alexandra House School**

所在地：George V Ave., Floreal

電 話：696-4108

**Clavis Primary School**

所在地：Montagne Ory, Moka

電 話：433-4439

**Le Bocage High School**

所在地：Montagne Ory, Moka

電 話：433-0941

(4) 幼稚園

**House on the hill**

所在地：3 Angus Road, Vacoas

電 話：696-3932

**Safe & Sound (Nursery & Early learning centre)**

所在地：Quatre Bornes

電 話：427-0819

5-2 入学手続きおよび授業料

(1) 日本人学校

日本人学校はない。

(2) 現地校、外国人学校

**Alexandra House School**

入学金3500ルピー、保証金7000ルピー、授業料1万5000ルピー（4カ月ごと）。

**Clavis Primary School**

入学金4000ルピー、授業料3870ルピー（1カ月ごと）。

**Le Bocage High School**

入学金1万ルピー、授業料7450ルピー（1カ月ごと）。

学期は1月中旬～3月上旬（うち2週間はイースターホリデー）、4月上旬～7月上旬（8月上旬～9月上旬冬休み）、9月上旬～12月上旬（12月上旬～1月中旬夏休み）となっている。

(3) 幼稚園

**House on the hill**

保証金4100ルピー、授業料9500ルピー(4カ月ごと、昼食付き)。

**Safe & Sound**

入学金750ルピー、授業料1800ルピー(1カ月ごと、昼食付き)。

5-3 教育関係施設

(1) 図書館

Carnage (所在地:Curepipe) とモーリシャス大学 (所在地:Rduit) にある。

(2) スポーツ施設

テニスコート、スイミングプールなどがある。

5-4 家庭学習

(1) 家庭教師

各種外国語、ピアノ、バイオリンの教師などは、ほぼ毎日、新聞の広告欄に掲載されている。

(2) 通信教育

海外子女教育振興財団が行っている海外向けの通信教育があり、小学校、中学校の国語、算数(数学)、理科、社会などが受けられる。詳細は下記に問い合わせるとよい。

海外子女教育振興財団(ホームページ:<http://www.joes.or.jp>)

東京本部

所在地:〒105-0000 東京都港区虎ノ門1-21-17 虎ノ門NNビル6階

電 話:03-3580-2521(代表)、3580-2827(通信教育課)

F A X:03-3503-7238

E-mail:joes1@netforward.or.jp

関西分室

所在地:〒530-0001 大阪市北区梅田1-3-1-200 大阪駅前第一ビル2階

電 話:06-6344-4318

F A X:06-6344-4328

(3) 携行したほうがよい家庭用学習教材

日本語の教科書、参考書および問題集など。詳細は海外子女教育振興財団(前項参照)に問い合わせること。

## 6. 家庭の使用人

### 6-1 一般事情

該当情報なし。

### 6-2 運転手

#### (1) 雇用

求人の方法として新聞広告や知人の紹介などがある。やはり知人からの紹介、あるいは邦人のもとで働いていた経験のある人が安心である。

選考方法は面接、運転技術、身上調査などであるが、運転手に限らず、最初の2～3カ月間は試用期間であるとはっきり告げ、本採用の際はきっちりと契約書を作成すること。口頭だけの契約はトラブルのもとである。契約書には、手が空いている時は家の雑用も手伝うことを明記すること。

通常、賃金は月末払いである。外国人家庭の場合、月3000ルピー前後が現在の相場である。年末には給与1カ月分をボーナスとして支払う。昇給は1年ごとに10%程度である。超過勤務手当は1時間につき20ルピー見当で、そのつど手渡すとよい。勤務時間は8:00～17:00、昼食は支給する。休日は日曜日と祝祭日である。

2年間ほどの短期勤務の場合、退職金支給の義務はない。それでも給与1カ月分程度を感謝の意味で支払ったほうがよい。

#### (2) 日常管理

洗車、保守点検、走行管理などを徹底して行ってもらうこと。ガソリンスタンドとの共謀による領収証のごまかしに注意すること。ラム酒などのアルコールを好む人が多いので注意すること。

#### (3) 教育指導

安全運転、服装、マナーなどを指導する。

#### (4) その他の留意点

若い人は避けたほうが無難である。

### 6-3 家政婦／夫

#### (1) 仕事の種類と人数

午前、午後とパートタイムで2～3人雇用するとよい。家政婦／夫は掃除、洗濯、屋内の雑務と、子供の世話などもする。

#### (2) 雇用

人格や仕事をよく観察したうえで本採用にすること。パートタイムの場合、賃金は月1000ルピー前後が相場である。そのほかは運転手の項を参照のこと。

### (3) 日常管理

貴重品は、施錠できる場所へ保管すること。

部屋の隅や物陰の掃除などは、こちらから指示しない限り自主的にはやってもらえない。ひとつひとつ細かく指示を出す必要がある。

#### 6-4 庭師、ガードマンなどの雇用

庭師は公務員などのアルバイトであることが多い。賃金は、週に5日（1日2時間程度）勤務で月800ルピー前後である。求人、契約方法などは運転手と同様である。

警備会社があり、前もって連絡すれば1日単位で依頼できる。相場は12時間で270ルピー（一回）、24時間（2交替制）体制では500ルピー程度である。月極め、年極めの契約であれば、交渉次第で割引がある。一時帰国で何日も家を空ける場合などに利用すると便利である。

警備会社は次のとおりである。

#### **Securicor**

所在地：20, Borneo St., Port Louis

電 話：241-1001

#### **Mauriguard**

電 話：208-5807

所在地：21, Route Menagerie, Port Louis

## 7. 交通事情

### 7-1 交通手段

#### (1) 一般事情

中央高原の居住地区からポートルイス、パンプルムースまで、南北に上下4車線の高速道路が走っている。全島の大小の道路は、ほぼ100%簡易舗装されている。

10近い航空会社（AF、BA、SQやインド、南アフリカ、マダガスカル、ジンバブエなど）が乗り入れており、現在はエア・モーリシャスがパリ、ローマ、ジュネーブ、チューリッヒ、ロンドン、ミュンヘン、ドバイ、シンガポール、クアラルンプール、香港、パースなどへ直行便を運航している。

国内の公共交通機関はバスとタクシーのみである。タクシーにメーターはない。乗車前に料金を交渉しておかないと、あとで面倒なことになるので注意すること。

(2) 自家用車を利用する場合

日本ほどではないが、朝晩はかなり渋滞する。ガソリンは1リットル当たり14.15ルピーである。

(3) レンタカーなどを利用する場合

国際免許証を持っていれば、AVIS、Hertz、Budgetなどのレンタカーが利用できる。ただし、カローラクラスで1日当たり8000～1万円を要するので、長期間の利用には適さない。

主なレンタカー業者は次のとおりである。

**AVIS**

所在地：Almadia Road, Port Louis

電 話：208-1624

**Hertz**

所在地：Royal Road, Curepipe

電 話：686-1453

**Budget**

所在地：Royal Road, Grand-Gaube

電 話：283-9337

(4) 道路地図

書店、ホテル、レンタカー会社などで容易に入手できる。

7-2 交通事故

(1) 対処方法

事故を起こしてしまった場合は直ちに警察に通報し、負傷者が出た場合は救急車の手配も行う（警察・救急車は電話999）。

警察の現地検証を受けた後、早急に保険会社へ連絡すること。民事的な処置は保険会社にすべて任せ、個人的には相手側と接触しないほうがよい。相手側が負傷した場合などは刑事訴訟になることがあるが、この手続きには通常1年ほどかかるようである。自分の知らない間に相手側が訴訟を起こしていることがあり、出国の際差し止められることがあるので注意すること。

(2) 救急病院

**Clinique Darne (Medical Surgical Centre)**

所在地：Floreal

電 話：686-1477、686-2307

## Med Point

所在地：Phoenix

電 話：426-7777

## Clinique Mauritienne

所在地：Reduit

電 話：454-5634

### (3) 盗難

部品類の盗難が多い。夜間の路上駐車や、昼間でも人目のないところでの駐車は避けること。被害に遭った場合は、警察、保険会社に速やかに連絡すること。

## 7-3 交通違反

### (1) 交通法規

多くの交通法則は日本と同様である。シートベルトの着用が義務づけられており、飲酒運転は厳しく罰せられる。

ラウンドアバウト（ロータリー）では、先にラウンドアバウトに入った方が優先である。常に右側に目を配ること。

### (2) 対処方法

信号機の設置が進められているが、昼間は見落としやすいので注意が必要である。

都市部のほとんどの路上が有料駐車区域になっている。ガソリンスタンドなどで駐車クーポンを購入して利用すること。

## 7-4 車の修理

### (1) 部品

プジョー、ルノー、ベンツ、BMW、トヨタ、日産、三菱、ホンダ、フィアットなどの部品は比較的在庫が多い。スペアパーツの値段は日本の2～3倍はする。

### (2) 修理工場

大小様々な修理工場がある。おおむね時間はかかるが技術的な心配はない。特に、ディーラーが持っている工場や大規模な工場は、多少割高だが安心である。

## 8. 通信

### 8-1 電話

#### (1) 一般事情

政府は電話回線の増加に力を注いでおり、電話は急速に普及している。現在のところ

ろ、外国人用住宅の9割以上には回線があるが、一般にはそこまで達していない。  
公衆電話は数えるほどしかないため、携帯電話が広く使われている。

(2) 国内電話

市内通話料金は1分間1ルピーである。

(3) 国際電話

国際電話はダイヤル直通で発信できる。日本への通話料金は1分間35ルピー（土曜日の午後と日曜日は1分間30ルピー）である。

モーリシャスから日本へは001-81（国番号）- 頭の0をとった市外局番-電話番号の順にダイヤルする。

日本からモーリシャスへKDDを利用する場合は、001-230（国番号）-電話番号とダイヤルする。

(4) 携帯電話

該当情報なし。

8-2 電信

(1) ファクシミリ

急速に普及しており、ほとんどのホテル、銀行、航空会社、旅行代理店、政府機関に設置されている。一般の人もOverseas Telecommunications Services (OTS) から送信できる。

(2) テレックス

受信局が固定されるので一般的ではないが、ホテルなどから比較的容易に送信できる。

(3) 電報

各郵便局から発信できるが、かなり割高である。

(4) インターネット

政府は情報通信産業の振興に力を入れており、インターネットの利用者は多い。

Mauritius Telecomがインターネットサービスを行っており、申込用紙を提出すれば即日利用できる。

8-3 郵便

(1) 一般事情

郵便制度は整備されている。航空便であれば、日本へは1週間前後で届く。日本までの航空便の料金は、はがきが4ルピー、封書が5グラムにつき10ルピーである。5ルピー増しになるが、書留を利用するとより確実である。



## (2) 課税

外国からの小包などが届くと、まずポートルイスの中央郵便局から通知がくる。その通知書と身分を証明するものを持って受け取りに出向く。書籍を除くすべての物品に税金がかかるため、JICA派遣専門家は所属省庁を通して大蔵省から免税証明書を発行してもらい、提示すること。

## 9. マスコミ

### 9-1 新聞

#### (1) 主な日刊紙

11の主要紙があるが、英語紙は少ない。多くは新聞名のみが英語で、記事はフランス語で書かれている。ポピュラーなものには『L'Express』、『Le Mauricien』がある。都市部では1部5ルピーで宅配サービスがある。

英語紙として週刊紙『News on Sunday』がある。

#### (2) 本邦日刊紙

日刊紙購読はOCSなどに問い合わせるとよい。

##### 海外新聞普及協会 (OCS)

所在地：〒108-0023 東京都港区芝浦2-9

電話：03-3453-8311

FAX：03-3453-8329

#### (3) 欧米紙

購読は個人で手配することになる。

### 9-2 ラジオ

#### (1) ラジオ放送局

Mauritius Broadcasting Corporation (MBC) がAMとFMで放送している。フランス語のほか、クレオール語、英語、ヒンディー語、ウルドゥー語、中国語、アラビア語（金曜日のみ）が使われている。

#### (2) ラジオジャパン

時間帯によって聴取可能である。詳細は下記に問い合わせるとよい。

##### NHK国際局編成部

所在地：〒150-8001 東京都渋谷区神南2-2-1

電話：03-3465-1111

番組表を含む情報提供サービス：<http://www.nhk.or.jp/rjnet/index-j.html>

日本語放送の周波数表 Fax Service：03-5454-0888 情報番号260

(3) 聴取可能なその他の外国放送

RF0（レユニオン放送・フランス語）が聴取可能である。BBC、VOAも時間帯により聴取可能である。

(4) ライセンス料金など

該当情報なし。

9-3 テレビ

(1) テレビ放送局

Mauritius Broadcasting Corporation (MBC) の2局がカラー放送を行っている。UHFコンバーターをつければ、レユニオンの番組（フランス語）も受信できる。時間により違う言語でも放送している。放送時間は、月～金曜日が 15：55～23：05、土・日曜日が 8：30～23：05である。

(2) テレビ受信

市販の受像機のほとんどは日本製である。

10. 教養、娯楽、趣味、スポーツ

10-1 映画、演劇

(1) 映画館

大きな街には、たいてい数軒の映画館があり、インド映画や最新のアメリカ映画などがフランス語に吹き替えられて上映されている。

(2) 劇場

テアトル劇場（所在地：Port Louis）とプラザ劇場（所在地：Rose Hill）がある。

10-2 出版、書籍

(1) 一般事情

洋書や日本書籍の多くは個人の手配で入手できる。検閲は日本より緩やかである。

(2) 書店

多くの書店がある。

10-3 語学学習

(1) 語学学習施設

フランス語のほか、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、アラビア語、中国語など

の講座がある。英語については個人教授を探して習うことになる。

(2) 家庭教師

各語学の家庭教師は新聞（『L'Express』など）の広告欄に多くみられる。

10-4 文化活動、文化施設

(1) 一般事情

ポートルイスにあるアライアンスフランセーズでは、フランス語講座のほかにピアノなどのコンサートが開かれている。

(2) 日本友好協会などの有無と活動の内容

モーリシャス・日本協会（Mauritius-Japan Society）があり、年に数回夕食会などを行っている。

(3) その他の文化活動、文化施設

該当情報なし。

10-5 写真、ビデオ

(1) 写真

サクラ、フジ、コダックなどのフィルムの入手は容易である。24枚撮りカラーフィルムの価格は100ルピーである。カメラ用品の調達も可能であるが、価格は日本の市価の2～3倍である。

(2) ビデオセット

テレビ、ビデオデッキは免税対象であり、ほとんどの家庭に普及している。ビデオはVHS式である。受信方式はSECAMであるが、マルチタイプも多く市販されている。日本のビデオを再生する場合は、テレビ、ビデオデッキともマルチタイプを購入すればよい。

(3) 各種テープ

録音テープはメタル、クロームなど各種入手できる。ビデオデッキの普及でレンタルビデオショップがいたるところに見られる。種類は豊富であるが、フランス語版が70～80%を占めている。使用されているテープはダビングを繰り返しているため、一般的に画質は悪い。レンタル料は2日間で10ルピーである。

10-6 音楽鑑賞、演奏、民族楽器

(1) 音楽会、コンサート

プラザ劇場あるいはテアトル劇場で年に数回、欧米の一流ミュージシャンによる演奏がある。

(2) コーラス、演奏グループ

該当情報なし。

(3) ピアノなど

ピアノやキーボード、ギターなどは普及している。日本製ピアノも市販されている。オークションなどではコロニアルスタイルのアンティークが見られることもある。ピアノの家庭教師および調律師の手配は可能である。

(4) CD、レコードなど

CD店は数多くあり、さまざまなジャンルのものが販売されている。レコードはない。ミュージックテープは欧米のミュージシャンのものがほとんどであるが、クラシックやモーリシャス音楽（セガ、現地クレオール民謡）もある。CDからのダビングサービス（有料）がある。

(5) 民族楽器

セガ・ダンスに使う打楽器などがある。

(6) その他の楽器

市販されている楽器の種類は少なく、楽器専門店も少ない。

10-7 手芸、絵画、美術工芸など

(1) 手芸

手芸用品の調達は可能である。

(2) 絵画、美術工芸

欧風、中国風、インド風などの美術工芸品を扱う店がある。コロニアル・スタイルの家具などを扱うアンティーク・オークションもある。

10-8 趣味

(1) 園芸

年に数回、展覧会がある。ランおよび盆栽の愛好会もある。種苗、園芸用品ともに入手可能である。

(2) 釣り

海釣りではビック・ゲーム（ブルーマーリンなどは10～1月）の世界記録級の大物釣りができる。10～1月は多くの人々がヨーロッパなどから集まるため、リゾートホテルは満室となる。

中央高原には多くのため池があり、テラピアなどが釣れる。ほかにも、各地で様々な釣りが楽しめる。釣り道具の調達は可能である。

#### 10-9 娯楽、遊戯など

##### (1) 娯楽、遊戯、ゲーム

主な娯楽は、5～10月に行われる競馬や、カジノ、ディスコなどである。

##### (2) レジャーランド、遊園地

リゾートホテルでは、セガ・ダンスショーやヒンディー・ダンスショーなどを見ることができる。

#### 10-10 スポーツ

##### (1) テニス

テニスクラブやホテルのテニスコートなど、いたるところでプレイできる。

##### (2) 水泳

当国の海岸はたいへん美しく、多くの海水浴場がある。

スイミングプールは中級以上のホテルにあり、水質や管理上、特に問題点はない。

##### (3) その他のスポーツ、用具、ウェア

乗馬、ダイビング、ウインドサーフィン、登山などを楽しめる。

##### (4) スポーツクラブなど

ジムカーナクラブでは、各種スポーツ、トランプ、ビリヤードなどができる。

#### 10-11 子供の遊び

子供のための遊戯施設などは少なく、家族と海岸に出かけたり、山へドライブに行くぐらいである。おもちゃ、ゲームなどの調達は可能であるが、高価であるので日本から持ち込むか、送ってもらうとよい。

### 11. その他のサービス

#### 11-1 金融機関

銀行は数多い。Mauritius Commercial Bank (MCB)、Mauritius State Bankのほか、外資系のBarclay Bank、Banque Nationale de Paris Intercontinentale (BNPI)、Bank of Baroda、Hong Kong Bankなどがある。いずれの銀行でも外国人は外国人口座を開くことができ、この口座の残高は自由に外貨と交換できる。外貨送金や入金も問題なくできる。外貨送金や入金の際には、外資系の銀行の方が速やかで、トラブルもほとんどない。

#### 11-2 コンピュータ

銀行、旅行会社、航空会社などは、日本と同様にコンピュータを駆使してサービス

を行っている。その他の事業所や政府機関でも業務にコンピュータを使用しているため、多くのメーカーのコンピュータが電器店に並んでいる。IBMとCompaqの代理店もあるが、取り扱う機種は限られている。最近では台湾などのアジアの製品が安価で多く出回っている。

専門店では通常1年間の保証期間を設けており、故障した際は修理をしてくれる。

#### 11-3 美容院・理髪店

美容院、理髪店などは多くある。理髪店のカット料金は35ルピー程度、美容院では100ルピー程度である。パーマ・シャンプー・カットの料金は300～650ルピーと店により異なる。

大きなショッピングモールやホテルの中にはエステティックサロンもある。

### 12. 観光

#### 12-1 地方旅行上の留意点

小さな島国であるため、1～2時間で各地に到着できる。観光に力を入れているため特に規制もなく、治安もよい。公用語が英語であるので、小さな部落などでも道を聞いて困ることはない（ただし、年輩の人には通じないことがある）。

#### 12-2 主要観光地・保養地ガイド

全島が観光地、保養地である。海岸沿いには多くの国際級のリゾートホテルがある。

#### 12-3 旅行

##### (1) 自動車

道路状況は良好で、標識も整っている。小さな島国であるため、道に迷っても大きな道をたどれば必ず海岸に出るので心配はない。ただし、夜の運転は控えるなど、一般的に注意すべき事項は他の国に準ずる。

##### (2) バス

外国人観光客向けの周遊バスが主要ホテルまで送迎してくれる。申し込みはホテルまたは旅行代理店で行う。

##### (3) 鉄道

鉄道はない。

##### (4) 航空機

エア・モーリシャスがロドリゲス島までの国内定期便を運航している。モーリシャ

スからロドリゲス島まで約1時間30分である。また、エア・モーリシャスではヘリコプターのチャーターも可能で、主要ホテルまでの送迎のほか周遊飛行もできる。

料金は30分間8100ルピーである。

#### 12-4 旅行代理店

##### **White Sand Tour**

所在地：10, Dr. Ferriere, Port Louis

電 話：212-3712、208-5424

##### **Mauritour**

所在地：10, Sir W. Newton, Port Louis

電 話：208-5241

##### **Mauritius Travel and Tourism Bureau (MTTB)**

所在地：Port Louis

電 話：208-2041

上記の各旅行代理店には邦人スタッフがいる。

#### 12-5 ホテルなど宿泊施設の手配

電話、ファックスなどで直接予約も可能である。クレジットカードはVISA、AMEX、Master Card などが通用する。

### 13. 治安、緊急時の心得

#### 13-1 暴動、クーデターなど

##### (1) 一般事情

該当情報なし。

##### (2) 緊急時の連絡

在マダガスカル日本大使館作成の連絡網がある。

#### 13-2 強盗、盗難

##### (1) 一般的治安状況

空き巣、車上狙いなどのコン泥は多いが、凶悪犯罪は少ない。周辺諸国と比べると治安状況はかなり良い。

##### (2) 防犯対策

夜間のひとり歩き（特にポートルイスなど）は避けること。住宅のガードマン、番犬、錠、鉄格子などの防犯対策は他のアフリカ諸国と同様に必要である。

### (3) 被害時の心得

ピストルなどの武器が安易に入手できる状況である。したがって、賊に遭遇した場合に護身法などで抵抗するのは非常に危険である。素直に要求に従うこと。

被害に遭ったら警察に通報すること。

## 13-3 火災、風水害、地震

### (1) 一般的災害発生状況など

地震や火災の被害はあまり聞かれない。

サイクロンの時期には集中豪雨や洪水などが発生することがある。大きなサイクロンになると、高速道路などが泥の激流と化し、車が屋根まで泥水に浸ったり、床上浸水することもある。最近のサイクロンでは雨よりも強風による被害が目立つ。1994年3月のサイクロンでは、強風による被害で都市部で1週間以上、そのほかの地域で2週間以上の停電となった。

### (2) 防災対策など

住宅の選定時にはサイクロン対策を考慮し、識者の意見を参考にして被害が少ないと思われる地区を選定すること。

サイクロン時（クラス2以上）の被害については、通常の保険では補償対象にならない。必要とあれば、サイクロン時車両保険や一般サイクロン保険にも加入しておくことよい。

サイクロンに備え、ライト、バッテリー、ラジオ、家族の約1週間分の食料および飲料水を確保しておくこと。

### (3) 被災時の心得

洪水などで床上浸水しても、中央高原の居住地では溺れるほど増水することはない。また、傾斜地が多いことから水はすぐに引く。やみくもに避難したりせず、じっとしているのが賢明である。強風時の外出は厳禁である。

トイレなどの下水は自然浸透式のため、洪水の後は水道水に下水が混入する可能性が高い。生水や生野菜にはくれぐれも注意すること。

災害時には、在マダガスカル日本大使館およびJICA本部（JICA関係者のみ）と連絡をとること。



## 14. 出入国手続および帰国手続

### 14-1 入国時

#### (1) 空港施設概要

該当情報なし。

#### (2) 入国手続書類

パスポート、入国カードと、コレラや黄熱病の汚染地から入国する場合にはイエローカードの提示が義務づけられている。

日本から入国する場合は、原則として往復搭乗券が要求される。ビザは必要ないが、滞在許可期間は3カ月である。

#### (3) 入国審査

質問事項は入国目的、滞在先、滞在期間などであるが、周辺諸国に比べて審査は緩やかである。JICA派遣長期専門家は、質問にはA-1フォームを提示して説明すること。

#### (4) 税関検査

外国人に対する荷物検査は非常に緩やかであるが、薬品に関しては厳しいので誤解を与えないよう注意すること。

免税で持ち込めるのは、タバコは1カートン（10箱）、ウイスキーは1本（750ミリリットル）までである。

#### (5) 空港内での留意点

入国ロビーの出入口付近には、ホテルや白タクなどの様々な客引きがいるが、声をかけられても相手にしないこと。置き引きに注意すること。

#### (6) 空港からの主な交通手段

タクシーがある。キューピップまでの料金は、昼は400～500ルピーで、夜間は15～20%増しになる。ポートルイスまでは昼は600～700ルピー、夜は15～20%割増が目安である。メーター制ではないので、乗車前に料金を交渉する必要がある。忘れるとあとで面倒なことになるので注意すること。営業車は白ナンバーである。

#### (7) その他の留意点

該当情報なし。

### 14-2 出国時

#### (1) 出国時の概要

該当情報なし。

## (2) 出国手続上の留意点

長期滞在許可された人が一時帰国などで出国する場合は、ポートルイスの警察本部（ライン・バラック）に、パスポート・アンド・イミグレーション発行の長期滞在許可証を提示することになっている。出国税は300ルピーであるが、公用旅券保持者は免税となる。

## 14-3 帰国手続き

### (1) 帰国時に必要な事務手続き

出国に関する特別な手続きはない。長期滞在許可の期間内に出国すること。

### (2) 車の処分

売却した車の代金は外貨に交換できないため、買い手は早めに見つけておくといよい。業者、知人、新聞広告などを通せば買い手は比較的に見つかりやすい。売却手続きは買い手が行う。税金が残っている場合は、購入者が残りの税金を納めることになる。

### (3) 家財道具の処分

知人、業者、新聞広告などを通じて容易に処分できる。外国人と見ると安く買いたたかれることが多いため、信頼できる知人などを介して処分するとよい。

日本へ送る場合はアナカンを利用するとよい。特に重い物は船便を利用する。アナカンの料金は重量によるが、量が多ければ割安である。日本までのアナカン輸送料は、業者への手数料などを含めて1 kgあたり2000円程度である。

主な輸送業者は次のとおりである。

#### **Cargo Express Co. Ltd.**

所在地：Sir W. Newton St., Port Louis

電 話：208-5021

#### **南泰海運 (Nantai Shipping Ltd.)**

所在地：I.K.S. Bldg., Farquhar St., Port Louis

電 話：212-5359

### (4) 住宅の明け渡し

明け渡し予定日の3カ月前までに通知することが、すべての契約書に明記されている。明け渡しの際に電気、水道、電話料金の領収証を求められるので、領収証は大切に保管しておくこと。

### (5) 外貨持ち出し規制

持ち出し、持ち込み共に制限はない。

## 15. 私財の輸送、引き取り、購入

### 15-1 家財道具

#### (1) 輸送業者

14-3 (3) 家財道具の処分の項を参照されたい。

#### (2) 輸入手続き

輸入手続きは複雑で時間を要するため、前述の業者に依頼するとよい。

郵便を除き、航空小包などの受け取りには、運賃と同程度の引き取り料がかかるので注意すること。

#### (3) 輸入荷物の受け取り港

該当情報なし。

#### (4) 家財道具の購入

JICA派遣専門家の場合、赴任後6カ月以内であれば、生活必需品（主に電化製品）については免税で購入できる。一般的な電化製品は当地で容易に入手できる。日本メーカーの電化製品が人気であり、次にヨーロッパ製品が売れている。ただし、日本メーカーの製品を税込み価格で購入すると、日本での倍以上の値段になる物もある。

家具や食器などはヨーロッパからの輸入品が多い。また、当地で製造された家具も多く出回っている。

### 15-2 自動車

#### (1) 一般状況

車は非常に高価である。日本車が市場の半数以上を占めているが、カローラの新車（1300cc）で約60万ルピーである。かかる税金は日本車で200%、ヨーロッパ車で180%である。JICA派遣専門家の場合は免税で購入できるので、日本からの運賃（30万円前後）およびメンテナンスを考えると当国で購入した方がよい。なお、税金は購入日からの経過日数に従って減っていき、4年間で0となる。

#### (2) 輸入手続き

税金さえ支払えば、いかなる車種でも新車・中古車を問わず輸入可能である。

輸入車の半数以上は日本車である。メンテナンス、スペアパーツ入手の便、売却時のことなどを考慮して、トヨタ、日産、ホンダなどが人気である。ヨーロッパ車ではベンツ、BMW、プジョー、ルノーに人気がある。

車両輸入に必要な書類は、日本の業者の添付書類で間に合う。中古車の場合は、エンジンおよびシャーシ・ナンバーを証明するもの（日本での廃車証明など）が必要である。第三者が翻訳、署名のうえ提出する。

輸入手続きは個人でも可能であるが、かなり煩雑である。ポートルイス税関近辺のマリン・ブローカーに代行してもらうか、やや高いがカーゴ・エクスプレス（迅速である）などの業者に任せた方がよい。

JICA派遣専門家の場合は、1台までは新車または中古車の免税輸入が認められている。所属省庁を通じて大蔵省より免税証明書をもらい、税関に提出すること。免税証明書の発行には時間がかかる（約1カ月）ので、赴任後速やかに手配するとよい。

### (3) 任国での購入

メンテナンス、スペアパーツの入手、売却時のこと（買い手が見つかりやすいか）などを考慮して購入する車種を選定すること。

エアコン、パワーステアリングなどの注文も可能である。当地で注文すると、在庫がない場合は納車まで1～3カ月待たされる。

### (4) 自動車登録

登録に必要な書類一式は「(2) 輸入手続き」と同様である。車体検査（エンジンおよびシャーシー・ナンバー、排気量など）の後、ポートルイスの登録所でナンバーをもらう。ナンバープレートは各自で自動車修理場などに発注する。料金は200～300ルピー程度である。税関から車体検査所までは、あらかじめ同じ登録所で仮ナンバー（TPナンバー）を発行してもらう。

免税車の場合、車体検査所および登録所での費用は、道路税および登録税も免税になるため、ほとんどかからない。所要時間は各1時間くらいである。

年に1回の車体検査が義務づけられているが、形式的なものであり、費用はほとんどかからない。

ナンバーは「番号3桁・購入月の頭文字・年の下2桁」で構成されており、所属によってGM（政府）、CD（外交官）などの種類もある。自家用車は黒ナンバー、営業車は白ナンバーと黄ナンバーの2種に分けられる。

### (5) 免許証取得

国際免許証が通用するが、有効期間は1年である。有効期間内に配属機関発行の身分証明書と国際免許証を持ってポートルイスの警察本部（ライン・バラック）へ行き、延長手続きを行うか、当国の運転許可証を取得すること。

### (6) 保険、税金

免税車の場合は、車に関するすべての税が免除される（ガソリン税は除く）。

カローラクラスの新車を購入した場合の保険料は、約1万5000ルピー程度である。

**British American Insurance Co. Ltd.**

所在地：21, Rue Pope Hennessy, Port Louis

電 話：212-4121

**Eagle Insurance Co. Ltd.**

所在地：10, Rue Dr. Ferriere, Port Louis

電 話：212-4877

**Swan Insurance Co. Ltd.**

所在地：Intendance St., Port Louis

電 話：208-6881

**16. 社交**

**16-1 風俗習慣**

免疫学でノーベル賞を受けたバーネットが、その著書『人間という名の支配者』で「世界はモーリシャス島の規模を大きくしたものである」と言ったように、当国は多民族、多宗教の複合国家であり、各宗教が個人および社会に多大な影響を及ぼしている。ヒンズー教、イスラム教、キリスト教などの万国共通の習慣（たとえばヒンズー教徒は牛肉、イスラム教徒は豚肉がタブーなど）を理解して交流すれば、パーティー、訪問時、来客時において特に問題はない。

一般に、モーリシャスの人々は明るく穏やかな気質である。宗教的な規律にも厳格にはこだわっていない場合が多い。

**16-2 パーティーでの留意点**

食材を鳥と魚介類と野菜（ベジタリアンのため）にしておけば、宗教の異なる人々が集まる場合でも問題はない。

ヨーロッパ式の立食パーティーが多い。

**16-3 来客時の留意点**

宗教上の理由で飲酒しない人もいるので、無理に酒を勧めたりしないこと。

**16-4 訪問時の留意点**

特に留意点はない。

**16-5 禁止されている言動**

民主主義が確立されているので特に問題はないが、3S（政治、宗教、性）には触れないなど、公用旅券所持者としての立場を自覚して言動を律すること。

## 17. 任国官公庁

すべての省庁はポートルイスにある。執務時間は月～金曜日の8:45～16:00（昼休み12:00～12:30）である。

### Prime Minister's Office

所在地: Government House, Port Louis

電話: 201-1366

### Ministry of Finance

所在地: Government House, Port Louis

電話: 201-1419

### Ministry of Agriculture, Fisheries & Cooperation

所在地: 8th & 9th levels, NPF Bldg Cnr Jules Koeing & Maillard st., Port Louis

電話: 212-0854

### Ministry of Foreign Affairs & International Trade

電話: 201-1132

### Ministry of Attorney General's Office & Justice, Human Rights & Corporate Affairs

所在地: 4th & 5th fl., NPF Bldg Port Louis

電話: 212-0544

### Economic Development & Regional Cooperation

所在地: 9th fl., Emmanuel Anquetil Bldg., Port Louis

電話: 201-1260

### Ministry of Rodrigues

所在地: 5th fl., Fon Sing Bldg., Edith Cavell St., Port Louis

電話: 208-8477

### Ministry of Housing & Land Development

所在地: 6th fl., Moorgate House, 29, Sir William Newton St., Port Louis

電話: 212-6019

### Ministry of Land Transport, Shipping & Public Safety

所在地: 4th fl., Government House, Port Louis

電話: 201-3236

## **Ministry of Local Government & Environment**

所在地：3rd fl., Emmanuel Anquetil Bldg., Port Louis

電 話：201-1216

### **18. 在外日本関係機関など**

モーリシャス・ツナ・フィッシング・カンニング・エンタープライズ

所在地：Caudan, Port Louis

電 話：212-3746

### **19. 地方都市**

小さな島国なので、地方都市と言えるところはない。





## 任国情報をご利用の皆様へ

この任国情報は、政府間技術協力のために開発途上国へ赴任する専門家などのJICA関係者が任国への入国および滞在するために必要とされる情報、特に生活情報を提供するものです。

専門家などのJICA関係者は、技術協力協定などの国際約束に基づいて派遣されておりますので赴任国で課せられる税金が免除されることがあります。任国情報はこうした関係者を対象として作成されておりますので、あらかじめご了解願います。

### .....アジア地域.....

1. バングラデシュ
2. ブータン
3. ブルネイ
4. カンボディア
5. 中華人民共和国
6. インド
7. インドネシア (ジャカルタ、バンドン、ウジュンバンダ)
8. 大韓民国
9. ラオス
10. マレーシア
11. ミャンマー
12. ネパール
13. パキスタン
14. フィリピン
15. シンガポール
16. スリ・ランカ
17. タイ (バンコク、チェンマイ、コンケン)
18. ヴィエトナム
19. モンゴル

### .....中近東地域.....

1. アルジェリア
2. バハレーン
3. エジプト
4. イラン
5. ジョルダン
6. クウェイト
7. モロッコ
8. オマーン
9. カタル
10. サウディ・アラビア
11. スーダン
12. シリア
13. テュニジア
14. トルコ (アンカラ、イスタンブール)
15. アラブ首長国連邦 (ドバイ、アブ・ダビ、アライン)
16. イエメン (サナア)

### .....太平洋地域.....

1. フィジー
2. キリバス
3. ミクロネシア
4. バラオ
5. バプア・ニューギニア
6. ソロモン諸島
7. ヴァヌアツ
8. 西サモア
9. トンガ
10. マーシャル諸島

### .....欧州地域.....

1. カザフスタン
2. キルギス
3. ポーランド
4. タジキスタン
5. トルクメニスタン
6. ウズベキスタン
7. ハンガリー
8. ブルガリア
9. チェッコ
10. ルーマニア

### .....アフリカ地域.....

1. ベナン
2. ブルンディ
3. カメルーン
4. カーボ・ヴェルデ
5. コモロ
6. エチオピア
7. ガンビア
8. ガーナ
9. ギニア
10. ギニア・ビサウ
11. 象牙海岸共和国
12. ケニア
13. リベリア
14. マダガスカル
15. マラウイ
16. モーリシャス
17. モザンビーク
18. ニジェール
19. ナイジェリア
20. ルワンダ
21. サントメ・プリンシペ
22. セネガル
23. セイシェル
24. ソマリア
25. タンザニア
26. トーゴ
27. ザイール
28. ザンビア
29. ジンバブエ
30. スワジランド
31. ボツワナ
32. エリトリア
33. 南アフリカ
34. ジブティ
35. ウガンダ
36. ブルキナ・ファソ

### .....中南米地域.....

1. アルゼンティン
2. ボリヴィア (ラ・パス、サンタクルス)
3. ブラジル (ブラジリア、サンパウロ、リオ・デ・ジャネイロ、ポルトアレグレ、ベレーン)
4. チリ
5. コロンビア
6. コスタ・リカ
7. ドミニカ共和国
8. エクアドル
9. グレナダ
10. グアテマラ
11. ホンデュラス
12. メキシコ
13. パナマ
14. パラグアイ (アスンシオン、エンカルナシオン)
15. ペルー
16. セント・ルシア
17. トリニダード・トバゴ
18. ウルグアイ
19. ヴェネズエラ
20. ニカラグア
21. ジャマイカ
22. エル・サルヴァドル



---

「任国情報（モーリシャス） 1999年度版」

平成12年3月31日発行

編集・発行所 国際協力事業団 国際協力総合研修所

〒162-8433 東京都新宿区市谷本村町10番5号

電話 (03)3269-2357

---





